

SOS・コミュニケーション端末『Geo Chat (ジオチャット)』

概要

- 独自の無線規格『GEO-WAVE(ジオウェイブ)』を採用し、920MHz/250mWという高出力無線の特性を生かし、地形が険しく携帯圏外も多いような中山間地域でも双方向通信のやりとりが可能な無線端末。
- スマートフォンとBLEで繋がり、携帯圏外に於いても緊急時のSOS発報や、グループ間でのチャットコミュニケーションが可能となり、林業従事者の安全確保や業務効率化を支援する。
- 本体に三軸加速度センサーを搭載し、落下・転倒時などに衝撃を検知して自動でSOSを発報することも可能。
- 同無線規格を採用した広域無線インフラ構築用親機・中継機『Geo Base(ジオベース)』と連携し、その無線通信インフラの圏内であれば、携帯圏外からもインターネット経由での消防・警察等へのSOS発報が可能となる。
- 林業従事者の安全を守るための端末として全国から注目を集めており、令和元年度中に愛媛県久万高原町へ納品することを皮切りに、全国の自治体・森林組合などへの提供が始まる。

導入効果

- **安全確保** → 携帯圏外からでも、ほぼリアルタイムで位置情報付きの救助要請が可能に。
- **作業効率化** → 携帯圏外の現場からでも、携帯圏内の管理者の指示を仰ぎながら効率的な作業が可能に。
- **サプライチェーン効率化** → 市場の需給情報をリアルタイムで現場に伝達。求められる原木をタイムリーに生産することで材木の価格向上に繋げる。

GeoChat

○対象品目

水稲	畑作	露地野菜	施設園芸	果樹	茶	花き
酪農	肉用牛	養豚	養鶏	飼料作物		
沿岸漁業	養殖業	沖・遠洋漁業	その他水産業	林業		その他

○該当するニーズ

項目	林業（4）作業全般
技術ニーズ	作業全般
具体的なニーズの内容	山中で携帯電話が利用可能となる技術

○開発等の段階

開発/実証中	
モニター販売中	○
一般販売中	2020年4月予定
その他	



連絡先
(株)フォレストシー
里山通信事業部

里山通信

TEL:03-5245-1511
https://satoyama-connect.jp



情報記載日：2020年2月25日